

会報

点 合	鐘 唱	渡辺敏行会長 我等の生業	
出 席	報 告	出席義務会員	60人
		免除会員	2人
		出席	42人
		欠席	18人
		メイクアップ適用	0人
		出席率	70.00%



会長挨拶



柏ロータリークラブは現在63名の会員がおり、平均年齢は59才になっています。50代が一番多く34名、60代が16名と年齢構成は比較的若いクラブです。

小倉ガバナーが、今の最大の課題は、高齢化と会員の減少であるとおっしゃっていますが、その意味でも当クラブは、現在のところ二つの課題についてはクリアしています。これに甘んじることなく、会員増強については、常に心にとめて活動していければと考えています。

今年度のスローガンは、「全員が参加する奉仕活動をしよう。その活動を通して親睦をさらに深めよう」です。皆さんに書いていただいたメッセージカードを集めており、全員あるいはなるべく多くの会員から集めて、文具や体操服と共に地域の必要としているご家庭にお配りします。

さて、ビジョンを明確にとガバナーが書かれています。我々もビジョンについては、前年度からブレはなく、地域に必要な喜ばれる奉仕活動をし、地域にクラブの存在、活動を認知してもらうことです。3～5年、あるいは10年の戦略計画を立てる、アンケートでの皆さんの考えは、ほとんど同じようだと感じました。

今の青少年(小中学生、ひとり親家庭など)に対する奉仕活動を継続する、何をすればより喜ばれる活動になるのか、クラブ会員だけでなく多くの方、多様な団体の意見を聞くのも大切です。新しい奉仕活動を行いたいものです。勿論、献血やゴミゼロ、寄付などの社会奉仕の継続、国際奉仕もどんな形で行うことができるか、あるいは、他のクラブの活動に協力できるか考えていきたいです。

次は、広報活動ですが、広く多くの方にロータリーの名前を知ってもらう、良い活動をしている団体であることを認識してもらう。ロータリーらしい広報とは何か? いやいや、ロータリーらしさを気にすることはないのでは? 一般企業が行っているSNS、インスタグラムの活用、チラシ配布、会報の配布などいくつかあります。ロータリーにふさわしい広報活動を意識しながら会員の意見を聞きながら、行えたらと思います。

ロータリー賞の目標と達成方法について、まず目標ですが、皆さんがやろうと意欲が出る達成可能な数字を設定し、一つ一つ具体的にどうすればよいか考え、達成を目指し実行していきたいと考えています。

最初の会長挨拶で申し上げましたが、柏RCは、居心地が良く、風通しも良く、意見を言いやすいクラブだと思っています。出来れば、出席率を上げていきたい、私も前年度まで出席率が悪かったですが、自分の仕事を優先しなければならぬ年齢、立場の方が多くいらっしゃいますので、100%の方には本当に頭が下がります。可能な限り出席をし、又、出席したいと思っていただけるように努めたいです。今年度実施しました夜例会もまだ、1回しか実施していません。出席も思った程多くなかったのも、今後どうしたら良いか工夫していきたいです。昼間なら出られたけど、夜は難しい会員もいらっしゃるようで、理事会でも意見を頂きたいです。

親睦もコロナが抑えられていない状況で、何をどのようにしたらいいか、悩まされます。でも、感染対策を考え、一つでも多く実施し、やってよかったと思えるよう、参加して楽しかったと言ってもらえるように親睦委員会と話し合いながら進めたいです。

最後になりますが、ガバナー、ガバナー補佐並びに地区委員の方に援助頂き1年間有意義な活動をしていければと考えます。

クラブ報告

I 幹事報告

1. 風の便り 通刊95号
2. コーディネーターニュース9月号
3. 2022年9月10日 米山学友会 BBQのご案内
4. 2022年8月31日 地区補助金事業「小・中学校用品援助プロジェクト」の贈呈式
メッセージカードのご協力ありがとうございました
5. その他

II 委員会報告・理事会報告 なし

III PR・ご案内 なし



島田秀貴幹事



司会 古里正F

小・中学校用品
援助プロジェクト
贈呈式





1 本年度RIテーマと地区活動方針について

- 2022年度RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏(RI初の女性会長)は、本年度テーマをIMAGINE ROTARY(イマジン ロータリー)として、「より良い未来をイマジン(想像)し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次の通り決定。

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう！」

- 従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」は、第2スローガンとする。
ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)

2 ガバナーの任務・役割について

- クラブの活性化、元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為のDLP、CLPの活用→クラブ、会員が主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討(ビジョンと行動計画)
- グループ再編問題、ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと
地区とクラブとのコミュニケーションの在り方、信頼関係の再構築
職業奉仕の大切さ(四つのテスト)、クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認
例会は心のオアシス(佐藤千寿氏)
- コロナ禍の中でのロータリー活動(パンデミックの教訓)
2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず(第7波の到来)
→クラブ例会・行事等の中止(又はオンライン化)→親睦奉仕活動の停滞、会員の減少
→最近の感染者激増→コロナとの共生(会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)

3 ロータリーの歴史を振り返る

- 1905年→親睦と相互扶助から出発(一業種一会員制)→社会奉仕の考え→四(五)大奉仕へ
- ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集り(ロータリーの友6頁)
- ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方 セントルイス大会決議23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立
- ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」
(Enter to Learn, Go forth to Serve)
例会(親睦)→出会い、交流(切磋琢磨)→人間としての成長=信用→安定した経営奉の実践
日本のロータリーは周回遅れか?(ガラパゴス化)
- Vocational Service(職業奉仕)に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

4 ロータリーの変化とその対応

- 2001年:一業種一会員制の撤廃 2013年:職業のない人の入会資格を認める
- ロータリーのライオンズ化(団体寄付中心)I serveからWe serveへ
- 2016年の規定審議会→柔軟性の採用
{例会と出席}{会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる
- 2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認
メイクアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ロータリーアクトクラブにRI加盟を認める
- 何故ロータリーは柔軟性を採用したのか?→RIの危機感(会員の高齢化、減少)→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加(別紙)→悪循環か?
RIとTRFの一体化→いずれライオンズクラブとの合併か?
- 地域に応じた自治権、裁量権を認める方か?

5 これからのロータリーについて

- ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観(親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ)は不変
- ロータリーのビジョン声明、行動計画、DEI(多様性、公平性、包摂性)の提唱
- 未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確(北米の会員の急減が実施の理由か) 2つのパイロット地区で実施(2022年4月規定審議会決議)

6 アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ、女性だけのクラブ若者や老人だけのクラブ等
元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは?→CLPの活用

- クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定(毎年の見直しとチェック)
- 会員同士の交流を深める(クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る)
- 会員の積極的参加を促す(例会、奉仕活動)財団の補助金を利用して会員全員で奉仕 プロジェクトを策定し、奉仕の意識を養い、それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- 会員の増強(退会防止)若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- ITの推進(コロナ禍での例会の在り方を再考する)

7 最後に



本日のゲスト

国際ロータリー第2790地区
第11グループガバナー
小倉純夫 様(松戸RC)



国際ロータリー第2790地区
第11グループガバナー補佐
猫田岳治 様(柏南RC)



国際ロータリー第2790地区
第11グループガバナー補佐幹事
小林 亘 様(柏南RC)

草案はE-deskにて
ご確認をお願いいたします。

ZOOM 懇親会



事務局風景



事務局風景



ZOOM風景



ZOOM風景

《編集後記》 新型コロナの影響でZOOMでのガバナー訪問例会になってしまいました。少し、暑さも峠を越えてきた感がありますので、皆で仲良く、元気良く～ロータリー活動を楽しみましょう!(関学)

例会日:水曜日 12:30~13:30

例会場:ザ・クレストホテル柏

柏市末広町14-1

TEL 04-7146-1111(代)



<会報担当>

委員長	井上 英博	中島 康子	杉原 浩
委員	坂本 博	中島有紀子	関 学
	藤川 崇	山下和則	岡本 雅子